

セクション 1: 化学品及び会社情報

ラベルに使用される製品の識別子

製品名

M-Coat B (Control # 1072 and Higher)

他の識別手段

該当なし。

化学品の推奨用途と使用上の制限

推奨用途

PC9: 被覆・塗装・充填・パテ・シンナー。

使用上の制限

上記以外のもの。

安全性データシート供給者の詳細

供給者の詳細

VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD

納入業者の住所

Stroudley Road

Basingstoke

Hampshire

RG24 8FW

イギリス

電話

+44 (0) 1256 462131

F a x

+44 (0) 1256 471441

Eメール(担当者)

mm.uk@vishaypg.com

緊急電話番号

緊急連絡用電話の番号

(00-1) 703-527-3887

CHEMTREC (24 時間)

セクション 2: 危険有害性の要約

危険有害性の概要

製品の取り扱い: 引火性の高い液体および蒸気。粘性 (の)、粘潤な 黄褐色 有色の液体。?と ケトン において、膚刺激性。眼の刺激をもたらす。皮膚に付着した場合: 汚染された衣服を除去して、接触した部分をすべて大量の水で洗う。皮膚が刺激された場合: 医師の診断/手当を受けること。眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合: 医師の診断/手当を受けること。暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の手当て/診断を受けること。吸入すると有害。呼吸刺激を起こすおそれ。臓器への損傷を引き起こす。吸い込んだ場合: 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすいよう安静にすること。体調に異変があった場合は、中毒センターまたは医師に連絡すること。暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の手当て/診断を受けること。

GHS の分類 JIS Z 7252: 2014

物理的な危険性

Flam. Liq. 2; H225

健康に対する有害性

Skin Irrit. 2; H315

Eye Irrit. 2; H319

Acute Tox. 4; H332

STOT SE 3; H335

Carc. 1A; H350

STOT SE 2; H371

STOT RE 1; H372

分類されていない。

環境に対する危険

GHS ラベル要素

危険性を表す絵文字



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H225: 引火性の高い液体および蒸気。
 H315: 膚刺激性。
 H319: 強い眼刺激。
 H332: 吸入すると有害。
 H335: 呼吸刺激を起こすおそれ。
 H350i: 吸引によりガンを引き起こすかもしれない。
 H372: 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害。

危険有害性情報
安全対策

P201: 取り扱う前に特別の指示を受ける。
 P202: 安全上の注意を全て理解したうえで取り扱う。
 P210: 熱、高温の物、火花、裸火などの着火源から遠ざけること。禁煙。
 P233: 容器を密封して保管する。
 P260: 蒸気を吸入してはならない。
 P264: 取り扱いの後手と暴露された皮膚を徹底的に洗う。
 P280: 保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。
 P303+P361+P353: 皮膚（又は髪）に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 P332+P313: 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P337+P313: 目の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 P304+P340: 吸い込んだ場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすいよう安静にすること。
 P312: 体調に異変があった場合は、中毒センターまたは医師に連絡すること。
 P308+P313: 暴露又は暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 P403+P235: 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

応急処置

保管

他の危険有害性

知られていない。

セクション 3: 組成/成分情報

物質 該当なし。

混合物

GHS の分類 JIS Z 7252: 2014

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	化審法 官報公示番号 A	危険有害性分類
ethyl methyl ketone	<75	78-93-3	2-542	Flam. Liq. 2; H225 Acute Tox. 4; H332 Skin Irrit. H315 Eye Irrit. 2A; H319 STOT SE 2; H371 STOT SE 3; H335 STOT RE 1; H372
Formaldehyde	<1	50-00-0	2-482	Acute Tox. 4; H302

				Acute Tox. 3; H311 Skin Irrit. 2; H315 Eye Irrit. 2A; H319 Skin Sens. 1; H317 Acute Tox. 2; H330 Resp. Sens.1; H334 STOT SE 1; H370 STOT RE 1; H372 Muta. 2; H341 Carc. 1A; H350 Aquatic Acute 2; H401
--	--	--	--	--

H/P フレーズのテキスト全部分については、セクション 16 を参照する。^化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律
当製品の分類に影響を与えるであろう他の成分または不純物はありませ

セクション 4: 応急処置



応急処置の説明

最初の救助者自身の保護

必要な個人用保護具を使用する。適切な保護具を着用すること。直接的な接触を避けること。適切な換気を確保する。蒸気を吸入してはならない。全ての接触を避けること。汚染された衣服は、再利用の前に洗濯しなければなりません。

吸入

吸い込んだ場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすいよう安静にすること。体調に異変があった場合は、中毒センターまたは医師に連絡すること。暴露または暴露の懸念がある場合：医師の手当て/診断を受けること。

皮膚接触

皮膚に付着した場合：汚染された衣服を除去して、接触した部分をすべて大量の水で洗う。再使用する前に汚染された衣類を洗濯する。皮膚が刺激された場合：医師の診断/手当てを受けること。暴露または暴露の懸念がある場合：医師の手当て/診断を受けること。

目の接触

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。暴露または暴露の懸念がある場合：医師の手当て/診断を受けること。

摂取

飲み込んだとき：口をゆすぐこと。患者に多量の水を飲ませる。意識の無い場合は口から何も与えてはならない。医療関係者の指示がない限りは嘔吐させないでください。体調に異変があった場合は、中毒センターまたは医師に連絡すること。暴露または暴露の懸念がある場合：医師の手当て/診断を受けること。

最も重要な症状および作用（急性および遅発性）

膚刺激性。眼の刺激をもたらす。吸入すると有害。呼吸刺激を起こすおそれ。がんを引き起こすことがある。長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害。

医師の手当てと特別な処置が直ちに必要状態

症状によって処置する。

医師への注意：

飲みこんだ場合：物質が肺に吸入され、化学的肺炎を引き起こすことがある

セクション 5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

炭酸ガス、粉末または泡消火器、水噴霧で消火する。

不適切な消火剤

ウォータージェットを使用しない。

当該物質または混合物に起因する特別な危険性

火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。一酸化炭素、二酸化炭素、液体が下水道、地下室及びワークピットに入らないようにする；蒸気は爆発

消火作業者の特別な保護具と予防措置

性雰囲気を作り出すことがある。蒸気は空気より重く、着火源および逆火源までかなりの距離を移動することがあります。液体が下水道、地下室及びワークピットに入らないようにする。蒸気は爆発性雰囲気を作り出すことがある。爆発性過酸化物を生成することがある。

消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。

セクション 6: 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

注意 - 流出物は滑りやすい時もある。適切な換気を確保する。安全に対処できるならば漏洩をとめる。安全に対処できるならば全ての着火源を取り除く。熱、高温の物、火花、裸火などの着火源から遠ざけること。禁煙。必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8. 蒸気を吸入してはならない。

環境的予防措置

環境に排出しないようにする。排水路、下水道または水路に入らないようにする。蒸気は空気より重く、着火源および逆火源までかなりの距離を移動することがあります。水路へ流出したり、うっかり排出した場合、環境局または適切な規制機関に通知しななければならない。

封じ込めと清掃のための方法および資材

引火性漏洩物を回収するときには、無火花機器を使用すること。流出物を砂、土または適切な吸収剤に吸収させる。廃棄用の容器に移す。区域を換気し、物質の回収が終わったら漏洩場所を洗浄してください。この材料とその容器を有害廃棄物として処分します

セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

安全な取り扱いのための注意事項

作業員は被曝を最小限にするように訓練されていることを確認します。取り扱う前に特別の指示を受ける。安全上の注意を全て理解したうえで取り扱う。適切な換気を確保する。蒸気を吸入してはならない。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。熱、高温の物、火花、裸火などの着火源から遠ざけること。禁煙。特に閉鎖空間の中で空気とともに爆発性の混合物を形成することがある。静電気に対する予防措置を講ずる。保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。全ての接触を避けること。本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行ってはならない。

安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)

容器および受器を接地し固定する。他の容器に移し替えてはならない。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。熱、高温の物、火花、裸火などの着火源から遠ざけること。禁煙。特に閉鎖空間の中で空気とともに爆発性の混合物を形成することがある。直射日光を避ける。

保管温度

常温の。

保管期間

普通の状態安定。

混触危険物質

～から離すこと: 引火性液体, 酸化剤類, 腐食性。物質, アルコール類。

セクション 8: 暴露防止及び保護措置

職業暴露限度

確立されていない。

物質	CAS 番号	長期暴露限界 (8 時間 TWA ppm)	長期暴露限界 (8 時間 TWA mg/m3)	短時間暴露限界 (ppm)	短時間暴露限界 (mg/m3)	参照
ethyl methyl ketone	78-93-3	200	590	-	-	JSOH
Formaldehyde	50-00-0	0.1	0.12	-	-	JSOH, Sen

出典: JSOH 職業暴露限界の勧告 (2015 年・016 年), SEN: 科学的証拠の重要性に基づくと、皮膚接触及び/あるいは吸入暴露の結果として、作業者に感作性を引き起こす可能性が確認された。

<p>生物学的暴露指標</p>	確立されていない。
<p>PNEC および DNEL</p>	確立されていない。
<p>適切な工学的管理</p>	作業員は被曝を最小限にするように訓練されていることを確認します。適切な換気を確保する。職業暴露限度の規定に基づいて、空中濃度を管理しなければならない。
<p>個人用保護具（PPE）などの個人保護措置</p>	化学物質取り扱いのための一般的な衛生手段が適用できる。高い産業衛生水準を維持します。全ての接触を避けること。蒸気を吸入してはならない。休憩前及び作業後には手を洗うこと。作業着は分けて保管すること。作業場所では飲食、喫煙を行ってはならない。暴露した場合：皮膚に触れたり眼に入った場合は真水で流すこと。
<p>目/顔面の保護</p> 	液体の飛沫から保護するため保護めがねを着用すること。側板付き保護めがね（EN166）を着用すること。
<p>皮膚の保護</p> 	<p>手の保護:</p> <p>不浸透性手袋を着用すること。EN 374に準拠した480分以上の浸透時間に対応する、保護指数6。浸透の問題を避けるため、手袋は定期的に変換すること。手袋素材の浸透時間：手袋メーカーの情報を参照。</p> <p>適した材料：ブチルゴム。（最小厚さ：0.7mm）、ニトリルゴム。（最小厚さ：0.4mm）</p>
<p>呼吸器の保護</p> 	<p>体の保護:</p> <p>長靴、白衣、前掛けまたはつなぎ服を含む不浸透性の防護衣を適宜着用して、皮膚に接触しないようにしてください。</p> <p>換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。A型フィルターの付いた適切なマスク(EN141またはEN405)が適すると思われる。A型フィルターの付いた適切なマスク(EN141またはEN405)が適すると思われる。</p>
<p>特定の条件に起因する危険性に対する特別な注意事項</p>	知られていない。

セクション9: 物理的および化学的性質

<p>基本的な物理化学的特性についての情報</p> <p>外観</p> <p>におい</p> <p>臭いの閾値</p> <p>pH</p> <p>融点/凝固点</p> <p>初留点と沸騰範囲</p> <p>引火点</p> <p>蒸発速度</p> <p>燃焼性（固体、ガス）</p> <p>上限/下限可燃性または爆発限界</p> <p>蒸気圧</p> <p>蒸気密度</p>	<p>物質の物理化学的特性 Methyl ethyl ketone</p> <p>粘性（の）、粘潤な 日焼け 有色の液体。</p> <p>ケトン におい</p> <p>資料なし。</p> <p>確立されていない。</p> <p>-86°C</p> <p>82.3°C (混合物。)</p> <p>-9 °C [クロ-ズドカップ]</p> <p>1 (BuAc = 1)</p> <p>該当なし。 - 液体混合物</p> <p>LEL: 2.0 UEL: 10.0</p> <p>12.6 kPa at 25°C</p> <p>>1 (航蟻 ir = 1)</p>
---	--

相対密度	0.81 g/cm ³ (H ₂ O = 1)
溶解度	>10% (水)
分配係数: n-オクタノール/水	0.3 log Pow (40 °C)
自然発火温度	404 °C
分解温度	資料なし。
粘度	2.038 mPa s (動的粘度) 25 °C

セクション 10: 安定性および反応性

反応性	普通の状態安定。
化学的安定性	普通の状態安定。
危険な反応の可能性	引火性の高い液体および蒸気。蒸気は目に見えず、空気より重く、場合によっては地面に沿って拡散する。特に閉鎖空間の中で空気とともに爆発性の混合物を形成することがある。
避けるべき条件	高温、着火源および直射日光を避けること。
混触危険物質	引火性液体、酸化剤類、腐食性物質、アルコール類、強い酸類、とアルカリ類。
危険有害性分解生成物	火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。一酸化炭素、二酸化炭素。

セクション 11: 有害性情報

毒性に関する情報	
急性毒性	
摂取	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。
吸入	Acute Tox. 3; 吸入すると有害。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 13 mg/l。
皮膚接触	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。
皮膚腐食性/刺激性	Skin Irrit. 2; 膚刺激性。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	Eye Irrit. 2; 眼の刺激をもたらす。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
生殖細胞変異原性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
発がん性	Carc. 1A; がんを引き起こすことがある。
生殖毒性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
特定標的臓器への毒性 (単回暴露)	STOT SE 2; 臓器障害のおそれ。 STOT SE 3; 呼吸刺激を起こすおそれ。
特定標的臓器への毒性 (反復暴露)	STOT RE 1; 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害。
吸引性呼吸器有害性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

セクション 12: 環境影響情報

毒性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
残留性および分解性	推定 混合物。LC50 > 100 mg/l (魚類)
生物蓄積性	容易に生分解される。
土壌中の移動度	この製品は生物濃縮の可能性が低い。
オヤ洵 w に対する有害な影響	この製品は土壌中で移動性が高いと予想される。水 溶解。
その他の有害な作用	知られていない。 知られていない。

セクション 13: 廃棄上の注意

廃棄物処理法	この材料とその容器を有害廃棄物として処分します法律に従い、前処理後にし
---------------	-------------------------------------

改訂: 1.0 日付: 15 5 月 2018

以下に準拠 JIS Z 7253: 2012

www.vishaypg.com

追加情報

かるべき危険廃棄物焼却施設に送ること。
内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

セクション 14: 輸送上の注意

	ADR/RID	IMDG	IATA/ICAO
国連番号	UN 1193	UN 1193	UN 1193
UN 適切な船積み名	ETHYL METHYL KETONE (METHYL ETHYL KETONE)	ETHYL METHYL KETONE (METHYL ETHYL KETONE)	ETHYL METHYL KETONE (METHYL ETHYL KETONE)
輸送危険分類	3	3	3
輸送危険分類	II	II	II
Marine pollutant	分類されていない。	海洋汚染物質として分類 されていない。	分類されていない。
使用者に対する特別な注意事項	次の項を参照: 2		
MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠した バルク輸送	該当なし。		

セクション 15: 適用法令

特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律

Industrial Safety and Health Act (ISHA)

通知対象物

Methyl ethyl ketone: $\geq 1\%$ Formaldehyde: $\geq 0.1\%$

表示対象物

Methyl ethyl ketone: $\geq 1\%$ Formaldehyde: $\geq 0.1\%$

有機溶剤。

Methyl ethyl ketone

作業環境負荷基準の管理濃度

Methyl ethyl ketone: 200ppm

Formaldehyde: 0.1ppm

毒物及び劇物取締法

Methyl ethyl ketone

Formaldehyde

化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律

すべての化学物質が記載されていません

化学物質排出把握管理促進法

すべての化学物質が記載されていません

セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 該当なし。 - V1.0

参考文献: NITE 化学物質総合情報提供システム

この安全データシートは、日本工業規格 JIS Z 7252:2014 及び JIS Z 7253:2012 に基づいて作成した。

GHS 物質または混合物の分類	分類手順
Flam. liq. 2; H225	引火点(°C) [クロ-ズド カップ] / 沸点(°C) テスト結果
Skin Irrit. 2; H315	閾値計算
Eye Irrit. 2; H319	閾値計算
Acute Tox. 4; H332	急性毒性推定混合計算
STOT SE 3; H335	閾値計算
Carc 1A; H350	閾値計算
STOT SE 2; H371	閾値計算
STOT RE 1; H372	閾値計算

注釈

LTEL: 長期暴露限界

STEL: 短時間暴露限界

JSOH: 日本産業衛生学会

研修アドバイス：検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順に関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取り願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件（法的なあるいはそうでない）はございません。Vishay Precision Group は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません（欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き）。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。

Disclaimer

ALL PRODUCTS, PRODUCT SPECIFICATIONS AND DATA ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE.

Vishay Precision Group, Inc., its affiliates, agents, and employees, and all persons acting on its or their behalf (collectively, "VPG"), disclaim any and all liability for any errors, inaccuracies or incompleteness contained herein or in any other disclosure relating to any product.

The product specifications do not expand or otherwise modify VPG's terms and conditions of purchase, including but not limited to, the warranty expressed therein.

VPG makes no warranty, representation or guarantee other than as set forth in the terms and conditions of purchase. **To the maximum extent permitted by applicable law, VPG disclaims (i) any and all liability arising out of the application or use of any product, (ii) any and all liability, including without limitation special, consequential or incidental damages, and (iii) any and all implied warranties, including warranties of fitness for particular purpose, non-infringement and merchantability.**

Information provided in datasheets and/or specifications may vary from actual results in different applications and performance may vary over time. Statements regarding the suitability of products for certain types of applications are based on VPG's knowledge of typical requirements that are often placed on VPG products. It is the customer's responsibility to validate that a particular product with the properties described in the product specification is suitable for use in a particular application. You should ensure you have the current version of the relevant information by contacting VPG prior to performing installation or use of the product, such as on our website at vpgsensors.com.

No license, express, implied, or otherwise, to any intellectual property rights is granted by this document, or by any conduct of VPG.

The products shown herein are not designed for use in life-saving or life-sustaining applications unless otherwise expressly indicated. Customers using or selling VPG products not expressly indicated for use in such applications do so entirely at their own risk and agree to fully indemnify VPG for any damages arising or resulting from such use or sale. Please contact authorized VPG personnel to obtain written terms and conditions regarding products designed for such applications.

Product names and markings noted herein may be trademarks of their respective owners.

Copyright Vishay Precision Group, Inc., 2014. All rights reserved.